

## 5 ボタン ワイヤレス光学式マウス

### M-D22DR シリーズ ユーザズマニュアル

このたびは、エレコム ワイヤレス光学式マウス「M-D22DR」シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
このマニュアルでは「M-D22DR」シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。  
※このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-D22DR」シリーズを「本製品」と表記しています。

## 安全にお使いいただくために

### ■絵表示の意味

	<b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
	<b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
		「してはいけないこと」を示します。
		「しなければならないこと」を示します。
		「注意していただきたいこと」を記載しています。
		「お願しいたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
		「知っていると便利なこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

	<b>警告</b>	本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
	<b>注意</b>	本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認した後で、レシーバユニットをパソコンから取り外し、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
- ガラスなどの透明な場所や鏡など強く反射をする場所で使用すると、光学式センサーが正しく機能せず、マウスカーソルの動きが不安定になります。
- 1ヶ月以上マウスを使用しない場合は、レシーバユニットをパソコンから取り外してください。
- 本製品を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。
- センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
- レシーバユニットは、お子様が誤って飲み込んでしまう危険がありますので、絶対にお子様の手の届かないところに保管してください。

- ### ■電池について
- 注意**
- 本製品には単4形アルカリ乾電池、単4形マンガン乾電池、または単4形ニッケル水素2次電池を使用してください。
  - 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

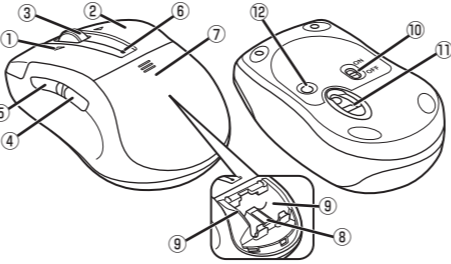
- ### ■お手入れのしかた
- 本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

## ワイヤレス(無線)についての注意事項

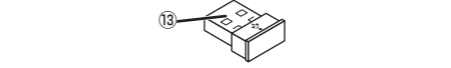
本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはGFSK方式を採用し、干渉距離は10mです。  
2.4GHz帯は、医療機器やBluetooth、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。  
●本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないか確認してください。  
●万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。  
※「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

## 各部の名称とはたらき

### ■マウス本体



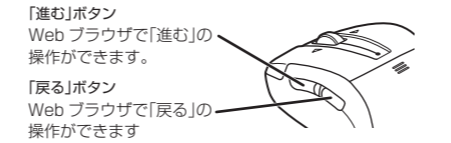
### ■レシーバユニット



- 1 左ボタン**  
パソコンの操作の左クリックに使います。
- 2 右ボタン**  
パソコンの操作の右クリックに使います。
- 3 チルトホイール**  
指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。チルトホイールを左右に倒すことで左右方向へのスクロールができるようになります。

Windowsで左右スクロール機能を使用するためには、弊社Webサイトよりエレコム マウスアシスタント2 Windows版を入手して、インストールする必要があります。  
●「左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」(裏面)

### ④「戻る」ボタン / ⑤「進む」ボタン



- 「進む」ボタン  
次のページに進みます。
- 「戻る」ボタン  
前のページに戻ります。
- Macintoshで「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを使用するためには、弊社Webサイトよりエレコム マウスアシスタント2 Mac OS X版を入手して、インストールする必要があります。  
●「左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」(裏面)

- 6 電池残量表示ランプ**  
電池の交換時期をお知らせします。  
※電池残量が少なくなると一定時間赤く点滅します。
- 7 電池カバー**  
このカバーを取り外して、電池を入れます。
- 8 レシーバユニット収納部**  
レシーバユニットを収納します。
- 9 電池収納部**  
電池を収納します。
- 10 電源スイッチ**  
マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)します。
- 11 光学式センサー**  
マウス本体に電源が入ると赤く点灯します。マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。  
※センサーの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
- 12 メンテナンススイッチ**  
工場出荷用のため、使用できません。
- 13 USBコネクタ(オス)**  
パソコンのUSBポートに接続します。

## 使用時の準備

### 電池を入れる / 交換する

本製品を使用するときは、単4形電池2本をマウス本体に入れます。

- 1 電池カバーの上部を押しながら、電池カバーを開きます。**  
電池カバーを押しながら、電池カバーを開く

- 2 電池を入れます。**

- 電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
- 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。

- 3 電池カバーを閉めます。カチッとほめ込む**

### マウス本体の電源を入(ON)/切(OFF)する

- #### ■マウス本体の電源を入れる
- 本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。  
電源スイッチをONの位置にスライドさせます。  
※電池容量が少ないときは、一定時間赤く点滅します。

- #### ■マウス本体の電源を切る
- 本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。  
電源スイッチをOFFの位置にスライドさせます。

- #### ■スリープ状態から復帰する
- マウスの右ボタンをクリックします。

電池の消耗を抑えるため、電源スイッチがONの状態でも操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的にスリープモードに移行します。

### レシーバユニットを収納する / 取り出す

- #### ■レシーバユニットを収納する
- 1 電池カバーの上部を押しながら、電池カバーを開きます。**  
電池カバーを押しながら、電池カバーを開く

- 2 レシーバユニットを収納します。**

- 3 電池カバーを閉めます。カチッとほめ込む**

#### ■レシーバユニットを取り出す

- 1 電池カバーの上部を押しながら、電池カバーを開きます。**
- 2 レシーバユニットを取り出します。**

- 3 電池カバーを閉めます。**

## Windows® で使用する

### Step1 USBポートを確認する

- お使いのパソコンのUSBポートを確認してください。
- USBポート
- USBポートはどのポートでも使用できます。
  - USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

### Step2 レシーバユニットを取り付ける

- 1 パソコンを起動します。**
  - Windows®の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
  - Windows®が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。
- 2 レシーバユニットをパソコンのUSBポートに挿入します。**



- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 挿入時に、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。
- USBコネクタの端子部には触れないでください。

- 3 Windows標準マウスドライバが自動的にインストールされます。**

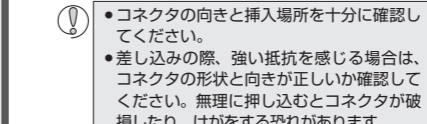
## Mac OS X で使用する

### Step1 USBポートを確認する

- お使いのパソコンのUSBポートを確認してください。
- USBポート
- USBポートはどのポートでも使用できます。
  - USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

### Step2 レシーバユニットを取り付ける

- 1 パソコンを起動します。**
  - Macintoshが起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。
- 2 レシーバユニットをMacintoshのUSBポートに挿入します。**



- コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
- 差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。
- USBコネクタの端子部には触れないでください。

- 3 マウスドライバが自動的にインストールされます。**

#### ■レシーバユニットを取り外す場合

本製品はホットプラグに対応しています。パソコンが起動した状態でもレシーバユニットを取り外すことができます。

### Step3 動作を確認する

Windows®の「Internet Explorer」でマウスの上下スクロールが正常に動作しているかを確認します。

- 1 Internet Explorerで好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下のスクロールバーが表示されるように変更します。**  
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。



- 2 マウスのチルトホイールを前後に動かします。指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。**

- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

本製品のチルトホイールで、左右方向のスクロール機能を利用するには、弊社Webサイトよりエレコム マウスアシスタント2 Windows版を入手してをインストールする必要があります。  
●裏面の「左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」にお進みください。

- 3 表示されているページ上のいずれかのリンクをクリックし、次のページに進みます。**
- 4 「戻る」ボタンを押すと前のページに戻り、「進む」ボタンを押すと次のページに進めば正常です。**



- アプリケーションによっては、「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを操作しても動作しない場合があります。

### Step3 動作を確認する

Mac OS Xに付属の「Safari」でマウスの上下左右のスクロールが正常に動作しているかを確認します。

- 1 Dockに登録されている「Safari」のアイコンをクリックします。**  
「Safari」が起動します。

- 2 Safariで好みのホームページを表示させ、画面のサイズを上下左右のスクロールバーが表示されるように変更します。**  
※ここでは例としてエレコムのホームページを表示させています。



- 3 マウスのチルトホイールを前後左右に動かします。**



- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。
- Macintoshで「進む」ボタン / 「戻る」ボタンを使用するには弊社Webサイトよりエレコム マウスアシスタント2 Mac OS X版を入手してインストールする必要があります。
- 裏面の「左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用する」にお進みください。

Mac OS X 10.7から上下左右のスクロール方向が従来と逆になりました。マウス設定画面で変更が可能です。

- パソコンの起動中に何度も抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、パソコンを再起動してください。

